



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社丸山製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6316 URL <https://www.maruyama.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）内山 剛治  
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役管理本部長（氏名）高取 亮 TEL 03-3252-2271  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	20,349	11.2	729	—	761	—	427	—
2025年9月期中間期	18,302	4.0	△24	—	24	△90.2	△18	—

（注）包括利益 2026年9月期中間期 1,201百万円（378.6%） 2025年9月期中間期 251百万円（△54.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	108.55	—
2025年9月期中間期	△4.51	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	44,513	21,585	47.9
2025年9月期	39,101	20,794	52.7

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 21,335百万円 2025年9月期 20,596百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年9月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 記念配当（創業130周年記念） 5円00銭

## 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.8	1,500	38.9	1,500	27.8	900	21.1	227.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) MARUYAMA COLOMBIA S.A.S.、除外 1社(社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	5,029,332株	2025年9月期	5,029,332株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	1,133,130株	2025年9月期	1,075,185株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	3,939,336株	2025年9月期中間期	4,078,202株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな景気回復が続いている一方で、米国の通商政策をめぐる動向や中東情勢の影響などによる金融資本市場の変動やサプライチェーンの混乱、原材料の高騰など、依然として先行きは予断を許さない状況が続いています。

当社グループが主力とする農林業用機械業界においては、国内・輸出向けともに出荷・生産実績が前年同期比で増加しました。

このような状況の中、当社グループは、国内では主力機種である動力噴霧機のモデルチェンジを記念し、2026年3月31日まで「自走ラジコンセット動噴キャンペーン」を実施しました。全国で対象製品を中心に積極的な営業活動を展開した結果、前年実績を上回る台数でキャンペーンを終えました。また、米卸売価格の高騰を背景とした農業用機械全般への需要増は継続しており、大型防除機や稲作関連機械を中心に拡販施策を推進し、販売の強化に努めました。ウルトラファインバブル製品については、温水洗浄機の公共施設やバス会社への導入のほか、テックシャワーやウルトラポンプについても農業分野を中心に販路拡大に取り組みしました。産業用機械分野では、精力的な営業活動により、ポンプユニットの受注や建機市場への洗浄機の導入が順調に進捗しました。さらに、近年当社が注力しているアフターサービス事業においても、取引先やサービス協力店との連携を一層強化し、大型防除機やドローンの定期点検・整備体制を拡充しました。加えて、各県で開催される大規模展示会において、製品安全に関する啓発活動により、お客様がより安心して当社製品をご利用いただけるよう、安全・安心に関する取り組みを継続して推進しました。

海外では、当社グループの強みである大型防除機などの農林業用機械の販売において、韓国・台湾向け仕様の機種を投入し、シェアの維持に努めたほか、タイ国では主力製品である刈払機の新製品の販売が好調に推移しました。また、米国市場では、新たに開拓した販路からの追加受注を機に、さらなるシェアの拡大を目指しました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において動力噴霧機及び農林業用部品が増加した結果、国内売上高は15,162百万円(前年同期比6.5%増)となりました。また、海外におきましては、北米向けの工業用ポンプが増加したことなどにより、海外売上高は5,186百万円(前年同期比27.5%増)となり、当中間連結会計期間の売上高合計は20,349百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

利益面では、原材料高騰や販売費及び一般管理費の増加はありましたが、売上高の増加により、営業利益は729百万円(前年同期は24百万円の営業損失)、経常利益は761百万円(前年同期比2,954.2%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は427百万円(前年同期は18百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 農林業用機械

国内におきましてはアグリ流通において動力噴霧機、ホームセンター流通において保冷庫が増加いたしました。また、海外におきましては、北米向けの動力噴霧機や刈払機が増加したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は15,195百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は851百万円(前年同期比293.9%増)となりました。

#### ② 工業用機械

工業用ポンプにおきまして、国内及び北米向けが増加したことなどにより、国内外の工業用機械の売上高合計は3,708百万円(前年同期比37.1%増)、営業利益は807百万円(前年同期比90.4%増)となりました。

#### ③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,351百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は125百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

#### ④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は160百万円(前年同期比23.7%減)、営業利益は79百万円(前年同期比38.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産総額は44,513百万円となり、前連結会計年度末より5,411百万円増加いたしました。これは、電子記録債権の減少(1,419百万円)はありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産の増加(1,425百万円)、商品及び製品の増加(2,495百万円)、投資有価証券の増加(759百万円)などによるものであります。

負債総額は22,927百万円となり、前連結会計年度末より4,620百万円増加いたしました。これは、電子記録債務の減少(2,333百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(1,003百万円)、短期借入金の増加(4,847百万円)などによるものであります。

純資産総額は21,585百万円となり、前連結会計年度末より791百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加(100百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(542百万円)などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、棚卸資産の増加や仕入債務の減少などによる支出の増加はありましたが、短期借入れによる収入の増加などにより、当中間連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ413百万円増加し、3,904百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果、使用した資金は3,652百万円(前年同期比2,913百万円増)となりました。これは、前年同期に比べ売上債権の減少による収入の増加はありましたが、棚卸資産の増加や仕入債務の減少による支出の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果、使用した資金は1,049百万円(前年同期比364百万円減)となりました。これは、前年同期に比べ子会社出資金の取得による支出の増加はありましたが、有形固定資産の取得による支出の減少などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果、得られた資金は5,042百万円(前年同期比4,281百万円増)となりました。これは、前年同期に比べ短期借入金の純増額の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、昨今の中東情勢による影響やコスト削減施策の進捗を見極めていく必要があるため、前回予想(2025年11月14日)を修正致しませんが、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,877	4,227
受取手形、売掛金及び契約資産	5,087	6,512
電子記録債権	3,165	1,746
有価証券	51	51
商品及び製品	5,659	8,155
仕掛品	403	605
原材料及び貯蔵品	2,924	3,620
その他	1,538	1,421
貸倒引当金	△7	△1
流動資産合計	22,700	26,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,932
土地	2,782	2,917
その他（純額）	3,062	3,461
有形固定資産合計	9,872	10,310
無形固定資産	90	94
投資その他の資産		
投資有価証券	4,762	5,521
退職給付に係る資産	1,411	1,434
その他	286	832
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	6,438	7,767
固定資産合計	16,401	18,172
資産合計	39,101	44,513

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,248	3,252
電子記録債務	4,310	1,976
短期借入金	5,622	10,469
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	203	249
資産除去債務	—	2
賞与引当金	583	582
製品保証引当金	99	122
株主優待引当金	17	—
その他	1,975	1,980
流動負債合計	15,070	18,646
固定負債		
社債	10	5
長期借入金	1,485	2,164
退職給付に係る負債	10	22
資産除去債務	187	184
その他	1,543	1,904
固定負債合計	3,237	4,280
負債合計	18,307	22,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,484	4,530
利益剰余金	9,668	9,769
自己株式	△1,988	△2,118
株主資本合計	16,815	16,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,332	2,875
為替換算調整勘定	388	659
退職給付に係る調整累計額	1,059	969
その他の包括利益累計額合計	3,781	4,503
非支配株主持分	197	249
純資産合計	20,794	21,585
負債純資産合計	39,101	44,513

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	18,302	20,349
売上原価	13,689	14,717
売上総利益	4,613	5,631
販売費及び一般管理費	4,637	4,902
営業利益又は営業損失(△)	△24	729
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	49	63
為替差益	56	41
その他	33	40
営業外収益合計	140	148
営業外費用		
支払利息	41	65
その他	50	51
営業外費用合計	91	117
経常利益	24	761
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	1	2
契約解除損失	—	72
その他	—	0
特別損失合計	1	75
税金等調整前中間純利益	23	686
法人税等	26	214
中間純利益又は中間純損失(△)	△3	471
非支配株主に帰属する中間純利益	15	44
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△18	427

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△3	471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	542
為替換算調整勘定	159	278
退職給付に係る調整額	△37	△90
その他の包括利益合計	254	729
中間包括利益	251	1,201
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	233	1,147
非支配株主に係る中間包括利益	17	53

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	23	686
減価償却費	549	541
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△69	△1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2	23
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△15	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38	△81
受取利息及び受取配当金	△51	△66
支払利息	41	65
売上債権の増減額 (△は増加)	△213	155
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,304	△3,285
仕入債務の増減額 (△は減少)	644	△1,354
その他	△207	△149
小計	△631	△3,490
利息及び配当金の受取額	51	66
利息の支払額	△41	△66
法人税等の支払額	△118	△162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△739	△3,652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60	△24
定期預金の払戻による収入	23	94
有形固定資産の取得による支出	△1,364	△607
有形固定資産の売却による収入	0	12
無形固定資産の取得による支出	△23	△13
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社出資金の取得による支出	—	△431
その他	12	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,413	△1,049
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	578	4,826
長期借入れによる収入	786	900
長期借入金の返済による支出	△43	△222
社債の償還による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△8	△8
自己株式の取得による支出	△208	△174
自己株式の売却による収入	6	44
配当金の支払額	△309	△316
非支配株主への配当金の支払額	△3	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	761	5,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,359	393
現金及び現金同等物の期首残高	4,431	3,490
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	19
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,072	3,904

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	14,163	2,705	1,339	6	18,215	—	18,215
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	0	0	—	0
顧客との契約から生じる 収益	14,163	2,705	1,339	6	18,215	—	18,215
その他の収益	—	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	14,163	2,705	1,339	93	18,302	—	18,302
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	116	116	△116	—
計	14,163	2,705	1,339	210	18,419	△116	18,302
セグメント利益又は損失 (△)	216	423	122	130	892	△917	△24

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	15,195	3,708	1,351	7	20,262	—	20,262
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	15,195	3,708	1,351	7	20,262	—	20,262
その他の収益	—	—	—	86	86	—	86
外部顧客への売上高	15,195	3,708	1,351	93	20,349	—	20,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	66	66	△66	—
計	15,195	3,708	1,351	160	20,416	△66	20,349
セグメント利益	851	807	125	79	1,863	△1,134	729

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。